

事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成25年～平成34年
事業実施地区名 (都道府県名)	西俣谷 (石川県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 石川森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は白山市南端に位置する山伏山国有林内で、山腹崩壊により発生した土砂が融雪期や降雨時に移動、堆積を繰り返し溪流を荒廃させている。</p> <p>このため土砂発生源となっている山腹崩壊地の復旧と溪床に不安定な状況で堆積している土砂の流出を防止し、手取川ダムの重要な水源森林である当地区の保安林機能を回復させ下流の県道・人家・手取川ダム等の保全を図ることを目的として平成8年度より着手した。</p> <p>大量の不安定堆積土砂の流出防止及び溪岸侵食の防止を図るため7基の溪間工を設置し効果を上げている。また、これによる山腹崩壊地の山脚固定が図られた箇所から山腹工の整備を進めている。</p> <p>当地区最大の不安定土砂発生源の山腹崩壊地（3.40ha）であるホー11については、現在まで不安定土砂の移動防止に7基の土留工が設置されたが、溪谷地形が深いことから現在の既設基礎工の効果範囲より高い部分で激しい横浸食が発生し既設の基礎工の袖部が不安定化するなど横方向の内部侵食が進んでいることから、既設基礎工の効果範囲を基礎地盤としてその上部に谷型の荒廃地形の安定化を図るため強固な基礎工を設置して、斜面基礎部の縦横侵食を防止し谷型侵食の安定化を図る。</p> <p>山腹工最上部の緑化については、法枠工を基本とするが土質によって簡易な工法を適用するなど現地に応じた施工をしていく必要がある。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容 法枠工</li> <li>・主な保全対象（治山事業） 手取川ダム</li> <li>・総事業費 605,000 (千円)</li> </ul>		
費用対効果分析	<p>総 便 益 (B) 608,950 (千円)</p> <p>総 費 用 (C) 495,750 (千円)</p> <p>分析結果 (B/C) 1.23</p>		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：不安定土砂発生源である崩壊地上部を施工することが必要である。</li> <li>・有効性：費用効果分析の結果から有効性が認められる。</li> <li>・効率性：事業の実施により山腹の安定が図られる。</li> </ul>		

事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成25年度(1年間)											
事業実施地区名 (都道府県名)	一ツ谷ほか地区(ひとつだに) (福井県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署											
事業の概要・目的	<p>一ツ谷ほか地区は、福井県の嶺南地域にある敦賀市の五位川の水源地域に位置する岩籠国有林、池ノ谷国有林、三方上中郡若狭町の八幡川上流の北清水国有林、小浜市の松永川上流の池河内国有林、大飯郡おおい町の一ツ谷川上流の一ツ谷国有林、野鹿谷川上流に位置する野鹿谷国有林内に位置している。</p> <p>また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮に関する地域の要請や過去の災害では濁水による漁業被害の発生を懸念するなど地元漁協の関心も高いことから早急な対策が望まれている地区である。</p> <p>このため、これらの要請に応えながら、過密林分化や鹿などによる剥皮により荒廃しつつある森林を整備し林地荒廃に伴う山地災害を抑止するとともに水土保全機能の維持・向上を図るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>本数調整伐</td> <td>119.73ha</td> </tr> <tr> <td>丸太筋工</td> <td>1,750m</td> </tr> <tr> <td>獣害テープ巻き</td> <td>119.73ha</td> </tr> </table> </li> <li>・ 主な保全対象 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>林道</td> <td>国道</td> <td>鉄道</td> <td>人家</td> </tr> </table> </li> <li>・ 総事業費 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>39,419 (千円)</td> </tr> </table> </li> </ul>			本数調整伐	119.73ha	丸太筋工	1,750m	獣害テープ巻き	119.73ha	林道	国道	鉄道	人家	39,419 (千円)
本数調整伐	119.73ha													
丸太筋工	1,750m													
獣害テープ巻き	119.73ha													
林道	国道	鉄道	人家											
39,419 (千円)														
費用対効果分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>総 便 益 (B)</td> <td>74,033 (千円)</td> </tr> <tr> <td>総 費 用 (C)</td> <td>37,901 (千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>1.95</td> </tr> </table>			総 便 益 (B)	74,033 (千円)	総 費 用 (C)	37,901 (千円)	分析結果 (B/C)	1.95					
総 便 益 (B)	74,033 (千円)													
総 費 用 (C)	37,901 (千円)													
分析結果 (B/C)	1.95													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：過密化等により荒廃しつつある森林を放置すれば、今後の集中豪雨等により森林荒廃が進み、山腹工崩壊が発生する恐れが高い。 水土保全機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性：事業の実施により、森林の機能増進が図られ水土保全機能の発揮が見込まれることから、効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性：費用対効果分析の結果から有効性が認められる。 新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、当事業により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、有効的に計画されているものと認められる。</li> </ul>													

事前評価個表

事業名	保安林整備事業	事業計画期間	平成25年度(1年間)										
事業実施地区名 (都道府県名)	小沢ほか地区(サワ) (福井県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 福井森林管理署										
事業の概要・目的	<p>小沢ほか地区は、福井県の嶺北地域の犬野市の小沢川上流の小沢国有林、入谷川上流の入谷国有林、黒谷川上流の藤倉国有林、智那洞谷川上流の繁倉国有林、南条郡南越前町の日野川上流の高倉国有林、藤倉谷国有林、大河内国有林内に位置している。</p> <p>また、自然環境の維持、保全及び水源かん養等公益的機能の発揮に関する地域の要請や地元の森林整備に対する関心も高いことから早急な対策が望まれている地区である。</p> <p>このため、これらの要請に応えながら、過密林分化や鹿などによる剥皮により荒廃しつつある森林を整備し林地荒廃に伴う山地災害を抑制するとともに水土保持機能の維持・向上を図るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>本数調整伐</td> <td>65.81ha</td> </tr> <tr> <td>丸太筋工</td> <td>1,800m</td> </tr> <tr> <td>獣害テープ巻き</td> <td>65.81ha</td> </tr> </table> </li> <li>・ 主な保全対象 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>市道</td> <td>林道</td> </tr> </table> </li> <li>・ 総事業費 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>21,543</td> <td>(千円)</td> </tr> </table> </li> </ul>			本数調整伐	65.81ha	丸太筋工	1,800m	獣害テープ巻き	65.81ha	市道	林道	21,543	(千円)
本数調整伐	65.81ha												
丸太筋工	1,800m												
獣害テープ巻き	65.81ha												
市道	林道												
21,543	(千円)												
費用対効果分析	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>総 便 益 (B)</td> <td>47,205 (千円)</td> </tr> <tr> <td>総 費 用 (C)</td> <td>20,714 (千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>2.28</td> </tr> </table>			総 便 益 (B)	47,205 (千円)	総 費 用 (C)	20,714 (千円)	分析結果 (B/C)	2.28				
総 便 益 (B)	47,205 (千円)												
総 費 用 (C)	20,714 (千円)												
分析結果 (B/C)	2.28												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：過密化等により荒廃しつつある森林を放置すれば、今後の集中豪雨等により森林荒廃が進み、山腹工崩壊が発生する恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性：事業の実施により、森林の機能増進が図られ水土保持機能の発揮が見込まれることから、効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性：費用対効果分析の結果から有効性が認められる。 新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、当事業により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、有効的に計画されているものと認められる。</li> </ul>												

## 事前評価個表

事業名	予防治山	事業計画期間	平成25年度
事業実施地区名 (都道府県名)	68-浅谷 (兵庫県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>当概地下流には寺・県道等がある。施工予定地は、下層植生が乏しいため、流紋岩の風化が進行している。現地は、表層土の浸食・移動が激しく、基岩に亀裂が見られる状態にあるため、落石により下流寺院等への被害を及ぼす可能性がある。そのため、岩を定着させるためワイヤーネット工及び小転石は破碎処理を施工し、落石災害の観点から計画した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容 山腹工 (1箇所) 0.10ha</li> <li>・ 主な保全対象 (治山事業) 県道・人家</li> <li>・ 総事業費 12,000 (千円)</li> </ul>		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	24,581 (千円)	
	総 費 用 (C)	11,538 (千円)	
	分析結果 (B/C)	2.13	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性：現地の基岩の風化を放置すれば、今後の風化の進行に伴い、落石が発生する恐れが非常に高い。 国土保全機能の発揮による施工地下部の保全等、当事業の実施の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性：事業の実施により、落石防止が認められ、国土保全機能の発揮が見込まれることから、効率性が確認される。</li> <li>・ 有効性：予防対策により落石の発生が防止され、施工地下部の保全が図られることから、効率的に計画されているものと認められることか費用対効果分析の結果も、有効性が認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林改良事業	事業計画期間	平成25年（1年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	中津岡谷 （鳥取県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署
事業の概要・目的	<p>当該計画箇所は 国宝三徳山投入堂の北東に位置する箇所であり地形が比較的急峻であり花崗岩を中心とした地質の林分で、降雨に伴う表土の流亡失が比較的早期から発生することが懸念され、一部の林分においては下層植生が衰退傾向にある。</p> <p>そのため、植採木の健全な成長を促進するため、うっ閉度合いが高い林分については適切な本数密度に調整するため不良木の伐採を行い、林内照度を高め下層植生の生育を促し、水土保持機能を充実させ、保安林機能の維持強化を図ることとしたい。</p> <p>・ 主な事業内容 本数調整伐 3.73ha 丸太筋工50.0m</p> <p>・ 主な保全対象（治山事業）</p> <p>・ 総事業費 750 (千円)</p>		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	12,814	(千円)
	総 費 用 (C)	721	(千円)
	分析結果 (B/C)	17.77	
評価結果	<p>・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養、公益機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</p> <p>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえ計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備	事業計画期間	平成25年度
事業実施地区名 (都道府県名)	神尾尻谷・アセン坊 (かみおしりたに・あせんぼう) (岡山県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>神尾尻谷・アセン坊地区は、吉井川流域の支流梶並川上流で岡山県美作市に位置する立木津谷国有林を含む地区で、下流右手地区の重要な水源地域である。国有林は水源かん養保安林に指定され森林の有する国土保全、水源のかん養等公益的機能の発揮や安定的な林産物の供給等に関する要望等が高い。</p> <p>当計画箇所は、スギ、ヒノキが主体の人工林であるが、林木の生長に伴う樹幹の鬱閉により日照条件が劣るため下層植生が減退又は消滅し、降雨等により表土流出する状態となっている。</p> <p>本事業は今後の降雨等により表層浸食が進行し、風倒等による崩壊地の発生を防止するため、本数調整伐の実行により林床植生の回復を促し、早急に保安林機能の回復を図るものである。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容</li> <li>・ 主な保全対象 (治山事業)</li> <li>・ 総事業費</li> </ul>	<p>保安林整備 (本数調整伐) 33.06ha (丸太筋工) 2,000m</p> <p>県道、人家、養魚場</p> <p>10,600 (千円)</p>	
費用対効果分析	総 便 益 (B)	182,412	(千円)
	総 費 用 (C)	10,192	(千円)
	分析結果 (B/C)	17.90	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 : 降雨等により表面浸食が進み、風倒等により林地崩壊が発生し土石流等による下流保全対象への被害を及ぼす恐れがある。 下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 効率性 : 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる</li> <li>・ 有効性 : 事業実施により、林床植生の回復が図られ、水土保持機能が維持向上されることから有効性は認められる。</li> </ul>		

## 事前評価個表

事業名	保安林整備	事業計画期間	平成25年度
事業実施地区名 (都道府県名)	大杉谷 (おおすぎだに) (岡山県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>大杉谷地区は、吉井川流域の支流八塔寺川で岡山県備前市に位置する大杉谷国有林を含む地区で、下流南谷地区の重要な水源地域である。国有林は水源かん養保安林に指定され森林の有する国土保全、水源のかん養等公益的機能の発揮や安定的な林産物の供給等に関する要望等が高い。</p> <p>当計画箇所は、スギ、ヒノキが主体の人工林であるが、林木の生長に伴う樹幹の鬱閉により日照条件が劣るため下層植生が減退又は消滅し、降雨等により表土流出する状態となっている。</p> <p>本事業は今後の降雨等により表層浸食が進行し、風倒等による崩壊地の発生を防止するため、本数調整伐の実行により林床植生の回復を促し、早急に保安林機能の回復を図るものである。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主な事業内容</li> <li>・ 主な保全対象 (治山事業)</li> <li>・ 総事業費</li> </ul>	<p>保安林整備 (本数調整伐) 2.85ha (丸太筋工) 400m</p> <p>国道、林道、発電施設</p> <p>1,370 (千円)</p>	
費用対効果分析	総 便 益 (B)	12,331	(千円)
	総 費 用 (C)	1,317	(千円)
	分析結果 (B/C)	9.36	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 : 降雨等により表面浸食が進み、風倒等により林地崩壊が発生し土石流等による下流保全対象への被害を及ぼす恐れがある。 下流域の保全等水土保持機能の発揮のため当事業の実施が必要である。</li> <li>・ 効率性 : 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる</li> <li>・ 有効性 : 事業実施により、林床植生の回復が図られ、水土保持機能が維持向上されることから有効性は認められる。</li> </ul>		



## 事前評価個表

事業名	復旧治山	事業計画期間	平成25年
事業実施地区名 (都道府県名)	カルガジョウリュウ 狩留賀上流 ヒロシマケン (広島県)	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>狩留賀上流地区は、広島県呉市狩留賀町に位置する猪山国有林内に位置している。当地区は、平成24年台風時期の集中豪雨により発生した落石箇所を復旧するものである。</p> <p>落石対策箇所は民家に極めて隣接しており、また、平成24年度においても度々の落石により、隣接する水路の閉塞等を起こしている状態にある。周辺及び上部山腹斜面には、経年風化等による落石の恐れのある転石が存在しており放置した場合は今後も落石による被害が発生する恐れが極めて高い状態にある。</p> <p>このため、落石対策工を施工し不安定な転石の固定を行い山腹斜面の安定を図り隣接水路及び民家等の保全を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な事業内容 山腹工事 0.08ha</li> <li>・主な保全対象(治山事業) 人家77戸 田畑0.5ha 道路等0.35km</li> <li>・総事業費 30,000(千円)</li> </ul>		
費用対効果分析	総便益(B)	90,253(千円)	
	総費用(C)	28,845(千円)	
	分析結果(B/C)	3.13	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 山腹崩壊地を放置すれば、今後の集中豪雨等により落石被害の恐れが非常に高い。水土保全機能の発揮による下流域の保全等、当事業実施の必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 事業の実施により、山腹崩壊地の復旧が図られ水土保全機能の発揮が認められることから、効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 費用対効果分析の結果から有効性が認められる。</li> </ul>		